国語科学習指導案

岸和田市立常盤小学校

指導者　　　学級担任

栄養教諭

令和2年11月12日

第3時限　10時45分～11時30分

4　年1組

１．単元名

　　くらしの中の「和」と「洋」について調べよう

２．教材名

　　くらしの中の和と洋（説明文）（東京書籍　新しい国語四下）

３．単元目標

　　何をどのように比べているかを読み取り、比較の仕方を意識して調べたことをまとめることができる。

　　（１）比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、を理解し使うことができる。

〔知識及び技能〕**（２）イ**

　　（２）「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕**C（１）ウ**

（３）「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕**C（１）カ**

　　（４）「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕**B（１）イ**

　　（５）言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

４．教材の取り扱い

（１）教材観

　　　　　　本教材は、暮らしの中の「住」における「和」と「洋」との違いやそれぞれの良さを対比して、分かりやすく説明したものである。和室と洋室の対比構造を読みとったり、指示語や接続語に着目したりすることで段落相互の関係を捉えるのに適している。

（２）児童観

　※個人情報のため削除

（３）指導観

「何をどのように比べているかを読み取り、比較の仕方を意識して調べたことをまとめることができる。」という単元目標にせまるために、まずは本文を内容ごとに要約するという活動を取り入れたい。本教材の本論で述べられている「過ごし方」と「使い方」の２つの観点ごとに、和と洋それぞれの良さを明らかにしながら要約することが結果として、段落同士の結びつきや段落相互の関係を読み取ることにつながり、児童観で述べた課題を達成する手立てになればと考えている。加えて、必要な部分を選んでまとめる力をさらに養うために、分量を考えて短く要約させることを意識させていきたい。正しく引用する仕方も提示しながら元の表現を生かしたり、自分の言葉を用いたりして取り組んでもらいたい。

また、本文の読解に留まらず、実際に本を読んだりインターネットで調べたりして自分がおもしろいと思った気持ちを大切にして、和と洋を対比させながら観点を意識して整理し紹介文にまとめるという活動を最後に設定した。

その中で食については、クラスのみんなが平等に体験している給食についての情報を取り上げることで、生活の中でも食の分野に注目できるようにしたい。

「それぞれの国にあった自然由来の食材」や、「料理の種類の多さ」「健康との関係」「食べることが心を豊かにする」ということなどの、和食や洋食の良さに気付かせるために、「みそ汁のだし」「スープのブイヨン」や「削り節・だし昆布・煮干し」「がら・セロリ・ローリエ」の実物を見せたり、給食調理員が「みそ汁のだし」や「スープのブイヨン」をとっている写真を提示したりしたい。

これらの正しい知識や情報によって、食生活や食の選択について、自ら管理したり、判断したりできる能力を養うことにつなげたい。

さらに、給食調理員の写真を出すことにより、食文化・食料の生産等に携わる人々の思いや願いに触れ、感謝する心を育み、残さず食べるなどの食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養うことにつなげたい。

５．食育の視点

　　・暮らしの中にある食生活を見直す。（食品を選択する能力）

　　・食料の生産はすべて自然の恩恵の上に成り立っていることを知る。（感謝）

・地域の伝統や気候風土と深く結びつき、先人によって培われてきた多様な食文化があることを

知る。（食文化）

食に関する指導の目標

　　・食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する

　　　知識や技能を身に付けるようにする。（知識・技能）

・食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断したりできる能

力を養う。（思考力・判断力・表現力等）

・主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に

対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。

（学びに向かう力・人間性等）

６．単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。 | ①「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。  ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。  ③「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 | 1. これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、粘り強く目的を意識して文章を要約し、紹介文を書こうとしている。 |

７．単元の指導と評価の計画（全１４時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法 |
| １  つ  か  む | １学習の見通しを立てる  ・これまでの学習経験を想起させ教科書Ｐ８から学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。 |  |  |
| 取  り  組  む  ２  ～  ６  ・  ７  ・  ８  ～  １２ | ２「くらしの中の和と洋」を読む。  ・段落の内容、文章の構成を捉える。  ・「和室」と「洋室」の良さを比較する観点と、記述された事例を読み取る。 |  | 【思・判・表①】  教材文を「和」と「洋」のそれぞれの観点にそって要約している。 |
| **３暮らしの中にどのような「和」と「洋」があるかを考える。**  **・給食のみそ汁「和」とスープ「洋」とを比較して整理メモをつくる。**  **<　本　時　>**  ・暮らしの中にはどのような「和」と「洋」があるかを考え、自分の課題を決める。 |  | 【知・技①】  ワークシート  給食の「和」と「洋」の共通点や相違点について、観点にそって整理している。 |
| ４自分の課題について調べ、紹介文を書く。  ・比べる観点をもって、本や資料を読んで調べ、必要な情報を集め、整理する。  ・紹介文の文章構成を確認し、調べた内容を文章にまとめる。 |  | 【知・技①】  情報整理の状況  比較や分類の仕方、必要な語句等の書き留め方、引用の仕方などを理解しながら情報を整理している。  【主①】  紹介文  前時までの要約や比較・整理する学習をいかして整理した情報を紹介文にまとめようとしている。 |
| ５完成した紹介文を読み合い、感想を伝え合う。  ・どんなことをどんな観点で比べて、どのような事例を挙げているのかに注目し、感想を伝え合う。 |  | 【思・判・表②】  感想  紹介文を読みあった感想の中で、それぞれの良さについて感じたことを記述している。  【思・判・表③】  紹介文  教材文の構成をふまえ、整理した情報を適切に紹介文としてまとめている。 |
| １３  １４  振り返る | ６言葉の力を確かめ、単元の学習を振り返る。  ・調べたことをまとめて紹介するために気を付けたことや学んだことを振り返る。 |  | 【主①】  振り返りの記述  要約することや、比較・整理することを駆使しながら紹介文を書いたことを振り返り、試行錯誤したことや、分かったこと、感じたこと、学びを今後いかしてみたいことなど、一連の学習を広くとらえ振り返りを書いている。 |

８．本時について

（１）本時の目標

　　　給食の「和」と「洋」についての共通点や相違点などに着目して比較・整理することができる。

　　　本時のめあて

どんな所に気をつけて整理メモを書けばよいかを考えよう。

（２）評価の判断基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A（十分満足できる状況） | B（おおむね満足できる状況） | C（努力を要する状況）と手立て |
| ワークシートの記述  給食の「和」と「洋」の共通点や相違点について、観点にそって整理したうえで、観点を明確にして比較・整理すると、それぞれの良さがわかりやすくなることに気付いている。 | ワークシートの記述  給食の「和」と「洋」の共通点や相違点について、観点にそって整理している。 | ワークシートの記述  給食の「和」と「洋」の共通点や相違点について、観点にそって整理できていない。  ⇒それぞれの観点に対応した写真等、考えるための追加情報を提示し、考えさせる。 |

（３）学習過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動 | 主な発問と予想  される児童の反応 | 指導上の留意点 | 評価規準  評価方法 |
| 5  分  つかむ | 1. 本時のめあてを確かめる。   みそ汁とスープについて同じ所やちがう所に注目して、整理メモを作ろう。 | 給食のみそ汁とスープについて同じ所や違うところに注目して、整理メモを作ろう。（T1） |  |  |
| 15分  取り組む  20分 | ２．みそ汁とスープの共通点や相違点などに着目し、情報を整理する。 | 整理メモの虫食いをうめていこう。  給食の先生に聞いて完成させよう。（T1）  最も大きな違いはそれぞれの材料  まず、材料に応じた「調理の仕方」の違いについて  次に、「味覚」の違いについて  最後に、料理の種類について　（T2） | ワークシートを用意し、自力解決できるようにする。  穴埋めにすることで自分の考えを発言しやすくする。  情報を伝えることで、子どもが興味を持って整理メモを作れるようにする。  「みそしるのだし」「スープのブイヨン」材料の実物提示  写真の提示 | 【知・技①】  ワークシート  給食の「和」と「洋」の共通点や相違点について、観点にそって整理している。 |
| 5  分  振り返る | ３．本時の学習を振り返る。  　次時以降への見通しを持つ | 「同じ所」や「違う所」を比較してみて、感じたことや、次時以降、比較・整理してみたいことを書こう。（T1） | 感じたことについては、特に、観点にそって比較・整理することで、どのようなことがわかるかといったことを書くよう助言する。 |  |